



## 平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月10日

上場会社名 エコートレーディング株式会社  
コード番号 7427 URL <http://www.echotd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理・システム本部長

(氏名) 豊田 実  
(氏名) 堀 和仁

TEL 0798-41-8317

四半期報告書提出予定日 平成30年10月12日

配当支払開始予定日

平成30年11月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	40,386	1.3	24	△84.7	22	△86.6	△2	—
30年2月期第2四半期	39,863	2.3	161	3.8	168	2.5	132	△71.2

(注)包括利益 31年2月期第2四半期 △3百万円 (—%) 30年2月期第2四半期 154百万円 (△19.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	△0.41	—
30年2月期第2四半期	21.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	28,276	8,950	31.6
30年2月期	26,249	8,994	34.2

(参考)自己資本 31年2月期第2四半期 8,921百万円 30年2月期 8,984百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
31年2月期	—	10.00	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	1.5	300	35.7	300	29.9	195	11.4	32.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	6,036,546 株	30年2月期	6,036,546 株
② 期末自己株式数	31年2月期2Q	6,944 株	30年2月期	644 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	6,032,444 株	30年2月期2Q	6,014,435 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復基調で推移したものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動に留意が必要であるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ペット業界におきましては、個人消費の持ち直しや猫人気による猫の飼育頭数の増加など需要増加の動きが見られるものの、犬の飼育頭数減少が継続しており、ペット関連市場はほぼ横這いにて推移しております。

このような状況の下、平成30年3月1日より営業本部を東日本と西日本に区分し、責任と役割の明確化を図るとともに、関東エリアの再編の為に横浜支店を廃止し、関東支店の配下に関東第一営業部・関東第二営業部・横浜営業部・管理部をそれぞれ新設いたしました。営業本部内を東日本と西日本に区分する事により、市場や取引先様への迅速な対応を更に強化し、依然として継続している業界内の価格競争激化及び物流コストの増加へ対応しております。

ペットフード・ペット用品の卸売事業につきましては、「日本一のペットカテゴリー企画会社」を目指して、ペットの専門知識や企画力を高め、商品の安定供給から売場作りの企画提案までのトータルプロデュースを行い、顧客満足度を高めてまいりました。また、在庫管理では単品管理による在庫回転率の向上、物流面ではローコストオペレーションによる物流コストの削減を継続して進めております。

一方、ベッツバリュー株式会社では、店舗開発事業の管理店舗数が245店舗になり、また、商品開発事業では高付加価値商品の開発及び販売を推進いたしました。

また、株式会社I&Iでは、商号を株式会社ケイ・スタッフより変更し、得意先様の売場活性化に繋がる営業企画提案を引き続き実施しており、卸売事業の販売促進を支援することによる売上拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、403億8千6百万円（前年同期比1.3%増）と増収になりましたが、低価格志向の継続によるペットフード及びペット用品の販売単価の下落が影響し、売上総利益はほぼ横這いとなりました。営業利益は、配送費用の値上げ要請受け入れなどの物流コスト増加が影響し、2千4百万円（前年同期比84.7%減）となりました。

経常利益は2千2百万円（前年同期比86.6%減）となり、また、親会社株主に帰属する四半期純損失は2百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億3千2百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ20億2千7百万円増加し、282億7千6百万円となりました。これは、主に現金及び預金が5億6百万円、受取手形及び売掛金が10億8千2百万円、商品が2億5千4百万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ20億7千2百万円増加し、193億2千6百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が14億5千7百万円、短期借入金が3億5千万円、未払金が2億8千2百万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4千4百万円減少し、89億5千万円となりました。これは、主に利益剰余金が6千2百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年4月6日付「平成30年2月期 決算短信」において公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,086,310	3,593,018
受取手形及び売掛金	15,579,333	16,661,776
商品	3,172,268	3,426,457
貯蔵品	18,002	10,867
未収入金	1,952,456	2,169,623
その他	153,862	154,508
貸倒引当金	△5,036	△5,034
流動資産合計	23,957,196	26,011,217
固定資産		
有形固定資産	1,269,343	1,257,078
無形固定資産	108,653	101,966
投資その他の資産	913,887	906,629
固定資産合計	2,291,884	2,265,674
資産合計	26,249,081	28,276,891
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,038,937	11,496,304
短期借入金	4,350,000	4,700,000
未払金	2,150,271	2,433,248
未払法人税等	50,177	49,320
賞与引当金	51,797	51,412
その他	224,570	218,279
流動負債合計	16,865,754	18,948,566
固定負債		
その他	388,493	377,811
固定負債合計	388,493	377,811
負債合計	17,254,248	19,326,378
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,988,097	1,988,097
資本剰余金	1,944,653	1,944,862
利益剰余金	4,867,989	4,805,179
自己株式	△446	△446
株主資本合計	8,800,293	8,737,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	184,339	184,263
その他の包括利益累計額合計	184,339	184,263
非支配株主持分	10,200	28,556
純資産合計	8,994,832	8,950,513
負債純資産合計	26,249,081	28,276,891

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	39,863,801	40,386,400
売上原価	35,033,881	35,553,834
売上総利益	4,829,920	4,832,565
販売費及び一般管理費	4,668,003	4,807,725
営業利益	161,917	24,840
営業外収益		
受取利息	1,443	1,366
受取配当金	4,726	5,035
業務受託料	10,803	11,144
その他	10,717	9,342
営業外収益合計	27,691	26,888
営業外費用		
支払利息	11,353	12,070
電子記録債権売却損	5,162	6,400
その他	4,815	10,727
営業外費用合計	21,331	29,199
経常利益	168,277	22,529
特別損失		
固定資産除却損	2	—
災害による損失	—	300
特別損失合計	2	300
税金等調整前四半期純利益	168,275	22,229
法人税、住民税及び事業税	36,126	23,960
法人税等調整額	958	2,153
法人税等合計	37,085	26,113
四半期純利益又は四半期純損失(△)	131,189	△3,884
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,005	△1,433
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	132,194	△2,450

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	131,189	△3,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,857	△76
その他の包括利益合計	22,857	△76
四半期包括利益	154,046	△3,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155,052	△2,526
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,005	△1,433

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	168,275	22,229
減価償却費	35,611	42,001
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,570	△385
受取利息及び受取配当金	△6,170	△6,401
支払利息	11,353	12,070
売上債権の増減額(△は増加)	△1,990,560	△1,082,443
たな卸資産の増減額(△は増加)	△77,557	△247,053
未収入金の増減額(△は増加)	△280,590	△239,928
仕入債務の増減額(△は減少)	1,533,923	1,480,726
未払金の増減額(△は減少)	325,169	285,745
その他	36,484	△12,210
小計	△240,490	254,351
利息及び配当金の受取額	5,303	5,534
利息の支払額	△10,305	△11,006
法人税等の支払額	△77,451	△14,157
法人税等の還付額	362	1,356
営業活動によるキャッシュ・フロー	△322,581	236,078
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,814	△7,272
無形固定資産の取得による支出	△14,122	△11,181
投資有価証券の取得による支出	△5,373	△4,601
長期貸付金の回収による収入	3,088	3,088
保険積立金の積立による支出	△1,975	△1,653
長期前払費用の取得による支出	△9,924	△7,623
その他	△909	△1,305
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,031	△30,549
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	150,000	350,000
自己株式の取得による支出	△34,550	—
配当金の支払額	△60,439	△60,429
非支配株主からの払込みによる収入	—	20,000
その他	△6,366	△8,391
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,643	301,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△307,968	506,708
現金及び現金同等物の期首残高	3,286,951	3,086,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,978,982	3,593,018

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。